

# いま、古代のロマンにせまる。



入場無料

掘ったバイ筑豊 2014

## 史跡「城山横穴群」国指定記念シンポジウム

2014 **12/21** SUN 日 「史跡を活用したまちづくり」 [時間] 13:00~ [会場] 福智町地域交流センター 福岡県田川郡福智町伊方4478番地1

**13:00** 開会行事 福岡大学 名誉教授 小田 富士雄 氏 「城山横穴群の国史跡指定にあたって」

**13:10** 基調講演 小田 富士雄 氏

**14:00** トークショー ゲスト 山本 華世 氏 アトラクション 築豊ご当地アイドル Smileステージ

**15:10** パネルディスカッション「史跡を活用したまちづくり」  
 亀田 修一 氏 (岡山理科大学 教授) / 井上 憲治 氏 (福智町立市場小学校 校長)  
 池田 昇 氏 (福智町商工会 会長) / 高鶴 享一 氏 (上野焼協同組合 理事長)  
 福田 昌 氏 (福智町文化財専門委員・地元金田1区行政区)  
 以上パネリスト5名 コーディネーター 花井 裕一郎 氏  
 NPOオペリズム理事・前小布施町立図書館まちとしょテラソ館長

**16:40** 閉会行事



【後援】福岡県 / 福岡県教育委員会 / 日本航空 / JR九州 筑豊篠栗鉄道事業部 / 平成筑豊鉄道株式会社 / 西日本新聞社 / 読売新聞社 / 朝日新聞社 / 毎日新聞社  
 【主催】福智町 / 福智町教育委員会 / 筑豊文化財行政連絡協議会 福智町教育委員会 生涯学習課 ☎ 0947-28-4100・2046

### 講師インタビュー



小田 富士雄 福岡大学名誉教授

**郷土の誇りを未来へ**  
 一度失えば、一度とよみがえることのない貴重な文化財。全国を見ても数多くの史跡が開発の中で失われてきました。  
 今回、国にその価値が認められ、指定史跡となった「城山横穴群」は、地形ごと史跡が残っている希少な地域の宝だといえます。この史跡が地域の財産として根付いていくには、これからの調査・整備・活用のみならず、地元行政、考古学者など、様々な人たちの協力が欠かせません。そして、大きな可能性を秘めたこの史跡について知り、価値を共有し、郷土の誇りとして次代へ伝えることがとても重要です。今回の「国指定記念シンポジウム」で、古代のロマンに思いを馳せ、ふるさとの未来について、ぜひ一緒に考えましょう。

# ふるさと福智の歴史をたどる

昭和時代 1926 大正時代 明治時代 1868 江戸時代



▲「うれしいひなまつり」など数々の名曲を世に残した河村光陽

▶三菱方城炭鉱 明治鉱業赤池鉱業所、物流と経済の拠点金田、それぞれが繁栄  
 ▼1914年(昭和12)上野村出身の童謡作曲家・河村光陽作曲「かもめの水兵さん」が大ヒット。



▼1904年(明治37)三菱方城炭鉱坑務工作室【国登録文化財】  
 ▼1914年(大正3)三菱方城炭鉱で国内最大の犠牲者を出すガス炭塵爆発(方城大非常)発生  
 ▼昭和初期 町内の炭鉱最盛期。

▼1753年(宝暦3)稻荷神社に獅子頭が寄進され、獅子楽の存在を物語る。【町指定文化財】  
 ▼1866年(永承元)小倉御変動により、9代藩主・小笠原忠幹の葬儀が興国寺で行われる。  
 ▼1902年(明治35)国内初の炭鉱技術員養成学校「赤池鉱山学校」開校。明治専門学校(後の九州工業大学)の前身となる。  
 ▼1904年(明治37)三菱方城炭鉱坑務工作室【国登録文化財】

## 国登録1・県指定8・町指定14 町に宿る文化財 気になる至宝をピックアップ!

### 福智の炭鉱史を物語るシンボルの存在

**九** 州日立マクセル赤煉瓦記念館は、三菱合資会社が炭鉱産業で筑豊地方に進出した際、明治37年ごろに建設されたヨーロッパ風の重要な建築物。重厚で高品質な赤レンガの構造で、実際は2階建てですが、一部(送風機室)が3階建てに見えるという特徴を持ちます。当時はこの部分に送風機が設置され、坑内へと通気用の風が送られていました。設計はドイツ人技師で、赤レンガによる装飾や凹凸、半円形の窓などヨーロッパ調の色彩が濃い造りとなっています。



▲国の近代化産業遺産でもある記念館

### 町指定文化財 稻荷神社奉納獅子楽 / 稻荷神社祭囃子 (金田) 受け継がれる伝統の舞と音色

**稲** 荷神社の神幸祭で奉納される獅子楽は、江戸後期に虚無僧の山本平八が振興を図り、現在保存会によって継承されている伝統行事。また、神幸祭をはじめ、山笠競演会でも奏でられる祭囃子は20数曲と多種にわたり、藩政時代から受け継がれています。

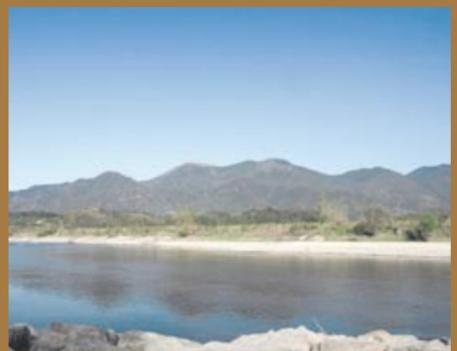


▲境内と御旅所で奉納される獅子楽



▲動いているときに奏でる「道囃子」とゆるやかな「待囃子」がある祭囃子

### In the life fukuchi town



▲この町を象徴する原風景「福智山」と「彦山川」

**福智の懐に抱かれて**  
 ゆつたりと流れをたたえる母なる川「彦山川」、そして、美しい稜線で裾野を広げる父なる山「福智山」。私たちの町は、その懐に抱かれるように歴史を重ね、豊かな文化を築いてきました。  
 今回解き明かされた先人たちの生きてきた証「城山横穴群」。先祖に感謝し、子どもたちの未来を想い続けた心は、今も昔も変わりません。そのような悠久の歴史の上に私たちは生きています。この福智には、ふるさとが残したかけがえない財産があり、それぞれが語りかけるメッセージがあります。それらを受け止め、次代に伝え、後世へと残していくことは、この町で今を生きる私たちの大切なテーマだと考えています。(福智町教育委員会)